

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 4 年 2 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービス おおすみKids

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		建物が3階なので、多目的スペース。個別指導訓練室、相談室等を全て分けている。集中できる部屋。相談できる部屋。学習する部屋で動と静に完全に使い分けしている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		非常勤2名、常勤5名配置。理学療法士は常勤で配置ができています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		1階の玄関前は車いすでも移動できるスロープにしている。また、玄関は児童ドアで、玄関からホールは全てフラットになっており、トイレも手すり等設置している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員は振り返りシートを記入し、個人的に目標を立ててもらい、上司と話をしながら振り返りを行っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	—	—	今回が初めての評価になる	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	—	—	今回が初めての評価表になる為、ホームページ等で公開していく予定である	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	—	—	法人内の第三者評価を行いながら業務改善に繋げていきたい	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		法人内の研修や、外部を講師を招いての感染症研修等を行っている。またコロナ渦なのでオンライン研修は適宜参加している	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントの他に学校の担任からの話等を加え、保護者、子どもたちのニーズに合わせて、より専門的なスタッフからの情報も取り入れながら計画を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		より専門的なスタッフの情報を元に子どもの状況を把握している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期定例職員会を設けており、行事や活動は全職員で話し合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		年間行事や月行事等、色々な体験ができるように地域の伝統行事等も取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		日課設定はあり、毎日必ず動と静を取り入れた日課にしている。また、土曜日や長期休暇は、未就園児との交流活動等を取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		活動には個別指導教室や、集団レクリエーション等もあり、適宜組み合わせで計画している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前日に打ち合わせを行い、ホワイトボードに予定や送迎等子どもたちが見ても分かりやすいように書いてある	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	担当者会議の時に保護者様には適切な説明を行い、文章には同意のサインを頂いている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	子育て相談会を実施したり、保護者様の負担軽減に努めている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	運動会、体操教室、クリスマス会等に保護者様も一緒に参加して頂き話をしながら連携を深めている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情に関しては、児発管が一括して行い、その日に電話連絡を入れて対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月の管理表を配布し、予定や情報を発信している
	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報の取扱いについては、担当者会議の時に説明を行い、同意を得てサインを頂いている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	毎回連絡帳で出来事等を記入しているが、伝わりにくい場合は電話や家庭訪問等しながら直接説明を行っている
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	行事関係については、チラシを配布したり、町内会長に配布したり公民館を利用して周知している
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	各マニュアルを作成し、感染症対策の研修等を行っている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	消防署に計画を提出しており、避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	法人内(大隅学舎)でより専門的な虐待ケース等の研修に参加している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	担当者会議の時に、保護者様には説明しており、万が一の場合は連絡を保護者様に入れて状況を説明しながら了解を得ている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者様には担当者会議の時にアレルギーに関する提出物を確認してもらっている
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハットマニュアルを作成している。事業所でヒヤリハットがあった場合は報告書を提出し改善を行っている	